

我孫子市史研究センター・会報284号 (通算590号)

発行・編集 我孫子市史研究センター

発行日 令和8年1月30日

ニモク会1月の活動報告

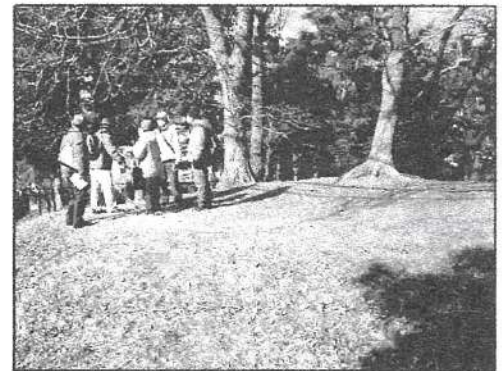
第3回 ニモク会文化財調査(我孫子・白山・根戸地区)

—「我孫子市文化財保存活用地域計画」への対応として—

- ・日時：1月15日(木)
- ・行程：我孫子駅南口発(9:30)～我孫子古墳公園～白山古墳公園～根戸水神宮着終了(11:50)
- ・参加者：新井(ガイドクラブ)、荒井、後藤、中村、萩原、長谷川(市史研)

今回の文化財調査の案内役として生粋の我孫子っ子である荒井市史研事務局長にお願いした。我孫子駅南口から常磐線柏駅方面沿いに日立精機2号墳へ。

2号墳は1号墳と共に背後の利根川沖積地に向かって突き出た舌状台地の基部に立地し、造営年代は7世紀初頭もしくは前半と云われている。また、1・2号墳とも前方後円墳で、2号墳は全長30m・高さ2.5m・前方部21m・後円部径1.8mの規模を有するが、埴輪は認められない。(『我孫子の史跡を訪ねる』から)。現在、古墳のクビレ部よりやや前方部南側に開口する横穴式石室は崩落防止のため埋め戻されている。我孫子古墳公園は3月末には満開の桜花に覆われる。

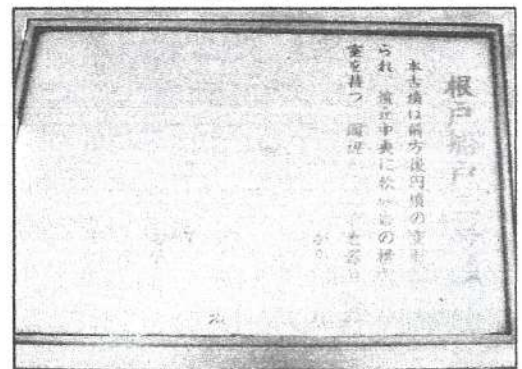


日立精機2号墳(左手前が開口部)

古墳南側の常磐線を跨ぐ歩道橋を渡り白山古墳公園へ。ここには旧水戸街道の踏切があり、「開かずの踏切」と呼ばれていた。白山古墳公園には根戸・船戸古墳群のうち2号墳が保存されている。

古墳群は手賀沼を見下ろす台地にあり、前方後円墳1基、ダルマ型墳3基、墳形不明2基の6基の古墳から成り立っている。築造年代は7世紀前半から8世紀初頭のと考えられている(『あびこ歴史散歩』より)。なお、2号墳の説明板の文字が劣化し判読不可能の部分があり、早急の修復が必要である。

続いて公園から谷を隔てた同古墳群の1号墳(現在消滅)跡へ。この古墳から平成26年(2014)発掘調査で大和政権が東国の豪族に与えたとされる「頭椎太刀」が出土した。現在太刀は未公開。他の市文化財と共に随時一般公開を望みたい。手賀沼北岸の我孫子台地縁辺部の東端から西端に並ぶ我孫子古墳群は、当時の人達にはどのように写っていたのだろうか。



白山古墳公園2号墳説明板

次に訪ねた「水神社」は船戸の森裾のハケの道に面している。草創年不詳だが、安永5年(1776)「根戸村新田検知帳」に「水神前」とある。数年前から荒廃が進んでいる。調査終了。

会員アンケート実施のお知らせとお願い

「市史研」は、お陰様にて昨年11月に結成50周年を迎えることが出来ました。今年、新たな50年への一歩を踏み出すに当たり、会員の皆様の幅広いご意見をお伺いするため、2月にアンケートを実施することといたしました。本アンケートにより、「市史研」が、より会員の皆様のニーズに適った活動を行い、効率的な運営が進められるように留意していきたいと考えています。

皆様の忌憚のないご意見をお寄せ願います。